令和５年度　事務事業評価表

8974
一般会計

事務事業名	地域歴史資料整理・保存事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている
根拠法令	名　称	
当該事業の法令等による義務付けの有無	無	

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和46年度		設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

個人などが所蔵する地域の歴史的資料

目　的

地域の歴史的資料を市民共通の財産として将来にわたり引き継ぐとともに、活用可能な状態とします。

手段、手法【実施手法： 直営　】

・中性紙の封筒・箱に収納するとともに、目録を整備します。
・保存と活用のためマイクロフィルムなどへ媒体変換（複製作成）します。
・歴史的資料が欠けている分野と時期については、資料を補完するため、聞き取り調査を実施します。

成　果（効果・予測）

・地域の歴史資料を未来へ継承することができます。
・市域の歴史資産の概要が把握され、活用可能となります。
・地域の歴史を調べようとする者にとって、資料活用が可能となります。

課　題

・個人が所蔵する資料（昭和48年頃に近世文書を主な対象として実施した悉皆調査時に簡単な資料整理を行ったもの）について、今後の長期保存を目的とした再整理作業を実施する必要があります。
・個人が所蔵する近・現代資料についても、資料保存や活用についての相談や依頼があり、それらについても調査・保存・整理作業を実施する必要があります。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	1,747	1,890	2,048
人件費	4,185	1,502	1,502
総事業費	5,932	3,392	3,550

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	2,048
合　計	2,048

3. 活動内容

活動指標1

名称	マイクロフィルム撮影コマ数		単位	コマ
内容説明	資料をマイクロフィルム撮影したコマ数			
指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
予　定	4,000	4,000	4,000	
実　績	3,852	3,633	―――	

活動指標2

名称	製本数		単位	冊
内容説明	各資料を保存のため製本した冊数			
指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
予　定	30	30	30	
実　績	35	29	―――	

活動指標3

名称	史料の記録作業等件数		単位	件
内容説明	記録と保存作業（整理・目録化・点検・分類）を行った件数			
指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
予　定	200	300	300	
実　績	350	892	―――	

活動指標4

名称			単位	
内容説明				
指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
予　定				
実　績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続

各家が所蔵している資料の整理・目録化を計画的に進めます。また、資料の解読作業および資料の複製を行い、資料利用の道を開きます。毎年一定の予算により一定量の整理を継続的に進めるとともに、資料の媒体変換も予算に応じ、着実に進めていきます。

５．評価結果

	評価結果			
市の関与の妥当性	3年度	4年度	5年度	市が関与する必要性があるか。
	A	A	A	Ａ：市が関与する必要性が高い。 本事業は、地域の歴史的資料を市民共有の財産として保存、活用するものであり、個人が所蔵している歴史的価値の高い資料の散逸・廃棄を避けるため、今後も継続的に市が関与する必要性はあると考えます。
事務事業の成果	3年度	4年度	5年度	さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	A	A	A	Ａ：十分に成果を上げている。 本事業では、歴史資料の目録を整備するとともに、資料の内容や状態、利用の状況等に応じ、適切な方法で保存を行っており、これを継続していくことで、事業の意図する成果を得ることができると考えます。
事業費・人件費	3年度	4年度	5年度	事業費、人件費は適正か。
	A	A	A	Ａ：経費は適正な水準である。 本事業の経費は、歴史資料整理に係る謝礼、マイクロフィルム撮影及びＣＤ作製費などとなっており、その額については適正な水準で予算執行しています。また、人件費は、資料を補完する聞き取り調査や所有者からの相談等に対応したものであり、必要最小限の費用となっています。
受益・負担の公平性	3年度	4年度	5年度	受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	A	A	A	Ａ：受益・負担は適正である。 地域の歴史資料は市民共有の財産であり、受益・負担は公平です。
社会的配慮	3年度	4年度	5年度	市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、 ＳＤＧｓの達成に向けた取り組み５点について十分に行ったか。
	A	A	A	Ａ：社会的配慮を十分に行っている。 地域の歴史的資料の保存・活用に取り組むことで、ＳＤＧｓの住み続けられるまちに必要不可欠な技術・経験を伝えることができると考えます。

令和５年度　事務事業評価表

9607
一般会計

事務事業名	文化芸術振興事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺　和由

1．位置づけ･事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている
根拠法令	名　称	文化芸術基本法
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和28年度		設定無し

2．事務事業の概要

対　象

市民

目　的

市民の文化芸術活動の発表の場及び芸術鑑賞の機会を提供します。

手段、手法【実施手法： 直営・委託　】

・文化祭、文芸祭を開催し、一般公募による文化芸術作品等の発表を行います。
・コミュニティ音楽館を開催します。
・芸術文化ホール等で文化芸術事業（委託）を開催します。
・文化芸術団体や財団などと連携協力しながら、ＹＡＭＡＴＯ ＡＲＴ１００プロジェクトを実施します。
・文化芸術情報サイト「大和文化百花」を活用し、情報発信を行います。

成　果（効果･予測）

・市民の文化芸術活動の裾野を広げることができます。

課　題

より多くの市民に開かれた事業を実施するための方策について、常に検討する必要があります。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	7,587	5,862	6,758
人件費	9,681	9,763	9,763
総事業費	17,268	15,625	16,521

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	773
一般財源	5,985
合　計	6,758

3．活動内容

活動指標1

名称	文化芸術作品の展示日数	単位	日
内容説明	文化祭・文芸祭で一般公募展を開催した日数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	23	24	21
実　績	24	25	―――

活動指標2

名称	コミュニティ音楽館の開催日数	単位	日
内容説明	コミュニティセンターで音楽会を開催した日数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	15	15	15
実　績	14	15	―――

活動指標3

名称	文化芸術事業委託件数	単位	件
内容説明	（公財）大和市スポーツ・よか・みどり財団に委託した件数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	1	1	1
実　績	1	1	―――

活動指標4

名称	ＹＡＭＡＴＯ　ＡＲＴ１００の開催日数	単位	日
内容説明	ＹＡＭＡＴＯ　ＡＲＴ１００として開催した日数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	100	100	100
実　績	100	100	―――

4．今後の方針等

3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	**Ⅱ：見直しのうえで継続**

今後の方針等

すべての市民が、文化芸術を日常の一部として親しむことのできる機会を提供できるよう事業を引き続き実施します。市民芸術祭については、新たな実施運営方法を検討し実施します。

５．評価結果

	評価結果			
市の関与の妥当性	3年度	4年度	5年度	市が関与する必要性があるか。
	A	A	A	Ａ：市が関与する必要性が高い。 本事業は、文化芸術を創造し、享受する権利を保障するため、すべての市民が文化芸術に触れ、親しむことができる機会を提供するものであり、積極的に市が関与していく必要があります。
事務事業の成果	3年度	4年度	5年度	さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	A	B	B	Ｂ：成果を上げる余地が一部ある。 本事業では、様々なジャンルの文化芸術の公演、展覧会を実施、発信していますが、教育や産業、観光、まちづくりなど他分野と連携したり、また市民芸術祭については運営手法を見直したりすることで、さらなる事業成果を生み出すことができると考えます。
事業費・人件費	3年度	4年度	5年度	事業費、人件費は適正か。
	A	A	A	Ａ：経費は適正な水準である。 本事業で行う文化芸術イベントは、民間が効果的、効率的なサービスを提供できるものについては、積極的に委託を推進しています。また、人件費は、文化芸術イベントの運営、文化芸術情報の発信のために要したもので、求められるサービス水準を踏まえると、適正であると考えます。
受益・負担の公平性	3年度	4年度	5年度	受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	A	A	A	Ａ：受益・負担は適正である。 本事業は、すべての市民を対象に文化芸術のイベントを実施しており、受益の公平性および負担は適正と考えます。
社会的配慮	3年度	4年度	5年度	市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、ＳＤＧｓの達成に向けた取り組み５点について十分に行ったか。
	A	A	A	Ａ：社会的配慮を十分に行っている。 本事業で行う文化芸術イベントでは、年齢、性別、国籍の違い、障がいの有無にかかわらず、あらゆる市民が参加できるように企画、運営を行っています。

令和５年度　事務事業評価表

9618
一般会計

事務事業名	文化財普及啓発事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺　和由

1．位置づけ･事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている
根拠法令	名　称	
当該事業の法令等による義務付けの有無	無	

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
			設定無し

2．事務事業の概要

対　象

市民

目　的

市民に身近な文化財を知ってもらうことで、郷土意識を高めます。

手段、手法【実施手法： 直営　】

文化財愛護講座を開催します。また、文化財案内板などの維持管理を行います。

成　果（効果･予測）

講座の開催、案内板・標柱の適正管理、文化財防火デーの実施などによって、市民の文化財に対する知識や防火意識などを深めることができ、郷土愛が醸成されます。

課　題

文化財案内板の老朽化が進んでいるため、補修・建て替えなどが必要です。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	522	573	645
人件費	1,828	1,866	2,253
総事業費	2,350	2,439	2,898

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	645
合　計	645

3．活動内容

活動指標1

名称	文化財愛護講座の開催数	単位	回
内容説明	文化財愛護講座の回数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	1	1	1
実　績	1	1	―――

活動指標2

名称	文化財防火デーの消防訓練実施回数	単位	回
内容説明	郷土民家園で実施する消防訓練の回数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	1	1	1
実　績	1	1	―――

活動指標3

名称	文化財案内板の維持管理件数	単位	基
内容説明	維持管理している案内板、標柱の件数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	82	82	82
実　績	82	82	―――

活動指標4

名称	博物館実習修了者数	単位	人
内容説明	所定の実習を修了した実習生数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	3	3	5
実　績	3	3	―――

4．今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続

文化財愛護講座および消防訓練等を継続的に実施していくほか、文化財案内板等の修繕は経年劣化の著しいものから計画的に行います。文化財愛護講座や各種行事の開催案内などは、ホームページや広報やまとなどの媒体を用いて、広く市民へ周知していきます。

５．評価結果

	評価結果			
市の関与の妥当性				市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	Ａ：市が関与する必要性が高い。
	Ａ	Ａ	Ａ	本事業は、郷土の歴史と文化への愛着と理解を深めるために重要な役割を果たしており、民間の活動と競合するものではないことから、市が実施すべき事業として妥当性が高いと考えます。
事務事業の成果				さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	Ａ：十分に成果を上げている。
	Ａ	Ａ	Ａ	文化財愛護講座の開催やホームページでの情報発信など、様々な方法で文化財への理解の深化を図っており、今後も市民に評価されるような企画を継続していくことで、事業の意図する成果を得ることができると考えます。
事業費・人件費				事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	Ａ：経費は適正な水準である。
	Ａ	Ａ	Ａ	本事業で設置している文化財案内版は、経費を可能なかぎり抑えるため、計画的かつ効率的に修繕を行っています。人件費については、普及啓発イベントの運営、文化財情報の発信のために要したもので、必要最小限の費用となっています。
受益・負担の公平性				受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	Ａ：受益・負担は適正である。
	Ａ	Ａ	Ａ	市民共有の財産である文化財を理解し次世代に継承するための事業であり、受益・負担は適正です。
社会的配慮				市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、ＳＤＧｓの達成に向けた取り組み５点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	Ａ：社会的配慮を十分に行っている。
	Ａ	Ａ	Ａ	事業への参加方法や周知方法を工夫するなど、事業実施にあたって社会的配慮を十分に行っています。

令和５年度　事務事業評価表

29111
一般会計

事務事業名	文化創造担い手育成事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺　和由

1．位置づけ･事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている
根拠法令	名　称	文化芸術基本法
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	平成23年度		設定無し

2．事務事業の概要

対　象

芸術活動を行う若手アーティスト

目　的

これからの文化創造を牽引する若い世代の発表活動の支援を行うとともに、市民が日常生活の中で文化芸術を感じ、楽しめる機会を提供します。

手段、手法【実施手法： 直営　】

・公募型の「ＹＡＭＡＴＯイラストレーションデザインコンペ」を開催します。
・コンペ入賞者の作品等を活用して、イラストレーションを日常の生活空間の中に取り入れる取り組みを行います。

成　果（効果･予測）

・若者の創造活動の意欲が喚起され、本市の文化芸術の活性化につなげることができます。
・市政とのかかわりが薄い若い世代のまちづくりに対する関心を高めることができます。
・大和の文化的なまちのイメージアップを図ることができます。

課　題

イラストレーションを通じて、魅力的な生活空間を創り出していくためには、民間事業者の協力が不可欠であり、入賞者の活用を促進するためのＰＲを定期的に行っていく必要があります。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	1,981	2,017	2,674
人件費	3,724	4,506	4,506
総事業費	5,705	6,523	7,180

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	2,674
合　計	2,674

3．活動内容

活動指標1

名称	ＹＡＭＡＴＯイラストデザインコンペ作品数	単位	点
内容説明	ＹＡＭＡＴＯイラストデザインコンペに応募のあった作品数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	500	500	500
実　績	478	428	―――

活動指標2

名称	作品展等の開催回数	単位	回
内容説明	イラストレーションに関するイベント・展覧会の開催回数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	1	1	1
実　績	1	1	―――

活動指標3

名称	コンペ入賞者等の制作依頼件数	単位	件
内容説明	コンペ入賞者にイラスト制作を依頼した年間件数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	20	20	20
実　績	21	18	―――

活動指標4

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

4．今後の方針等

	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続
今後の方針等	イラストあふれる魅力的なまちづくりを推進するため、今後も入賞者のイラスト活用を進めていきます。					

５．評価結果

<table>
<tr><td rowspan="3">市の関与の妥当性</td><td colspan="3">評価結果</td><td>市が関与する必要性があるか。</td></tr>
<tr><td>3年度</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td rowspan="2">Ａ：市が関与する必要性が高い。
大和市文化芸術振興条例では、文化芸術の振興にあたっての基本理念の一つとして、「未来に向けた新たな文化芸術を創造する」ことを掲げています。その実現のためには、次代の文化芸術を牽引する担い手を市内に増やしていくことが重要であり、本事業は市が関与していく必要があります。</td></tr>
<tr><td>Ａ</td><td>Ａ</td><td>Ａ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">事務事業の成果</td><td colspan="3">評価結果</td><td>さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。</td></tr>
<tr><td>3年度</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td rowspan="2">Ａ：十分に成果を上げている。
本事業は、コンペによって発掘された優れた人材を活用し、民間事業者にも協力をいただきながら、より多くの市民がイラストを身近に楽しめる魅力的なまちづくりを推進するものです。現在の実施手法を継続していくことで、事業の意図する成果を得ることができると考えます。</td></tr>
<tr><td>Ａ</td><td>Ａ</td><td>Ａ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">事業費・人件費</td><td colspan="3">評価結果</td><td>事業費、人件費は適正か。</td></tr>
<tr><td>3年度</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td rowspan="2">Ａ：経費は適正な水準である。
事業費は、全体の必要経費を精査したうえで可能な限り一般財源の支出の抑制に努めました。人件費は、コンペの運営に係る経費と、入賞者及び制作依頼者との調整に要した経費であり、業務量に見合った適正な水準であると考えます。</td></tr>
<tr><td>Ａ</td><td>Ａ</td><td>Ａ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">受益・負担の公平性</td><td colspan="3">評価結果</td><td>受益の公平性と負担の適正化は図られているか。</td></tr>
<tr><td>3年度</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td rowspan="2">Ａ：受益・負担は適正である。
若者の発表活動の支援という事業目的を踏まえ、コンペの応募対象を全国の若者、応募料を無料としていることから、受益・負担ともに偏りはなく、公平性は保たれています。</td></tr>
<tr><td>Ａ</td><td>Ａ</td><td>Ａ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">社会的配慮</td><td colspan="3">評価結果</td><td>市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、
ＳＤＧｓの達成に向けた取り組み５点について十分に行ったか。</td></tr>
<tr><td>3年度</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td rowspan="2">Ａ：社会的配慮を十分に行っている。
入賞作品及び入選作品をPRするために作品をホームページに掲載するなど、本事業について周知を行いました。イラストコンペの作品募集については、様々な媒体を使い広く情報提供を行ったことにより、多くの応募がありました。</td></tr>
<tr><td>Ａ</td><td>Ａ</td><td>Ａ</td></tr>
</table>

令和５年度　事務事業評価表

30087
一般会計

事務事業名	美術鑑賞推進事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている
根拠法令	名　称	文化芸術基本法
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	平成23年度		設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

市立小学校

目　的

美術鑑賞教育の推進を図ります。

手段、手法【実施手法： 委託　】

・美術鑑賞教育をサポートするガイドスタッフを育成します。
・小学校における対話による美術鑑賞授業にガイドスタッフを派遣します。
・ボランティア発掘につなげるための取り組みを進めます。

成　果（効果・予測）

・観察力や思考力、コミュニケーション力などを育て、子どもの豊かな情操を養うことができます。

課　題

本事業の目的を達成するためには、優秀なガイドスタッフが不可欠であり、こうした人材を継続的、計画的に発掘、育成していく必要があります。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	6,149	6,157	6,167
人件費	3,724	3,755	3,755
総事業費	9,873	9,912	9,922

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	6,167
合　計	6,167

3. 活動内容

活動指標1

名称	ガイドスタッフ育成研修の開催回数	単位	回
内容説明	ガイドスタッフ育成のための研修の開催回数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	20	20	20
実　績	15	20	―――

活動指標2

名称	ガイドスタッフを派遣した学校数	単位	校
内容説明	ガイドスタッフを派遣した学校数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	19	19	19
実　績	19	19	―――

活動指標3

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標4

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続

市立小学校全校で対話による美術鑑賞授業が円滑に実施できるよう、引き続き、ガイドスタッフの育成、支援を行っていきます。
［第２期「健康都市やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業］

５．評価結果

	評価結果			
市の関与の妥当性	3年度	4年度	5年度	市が関与する必要性があるか。
	A	A	A	Ａ：市が関与する必要性が高い。 文化芸術振興条例では、次代を担う子どもたちのための施策に注力することを掲げています。本事業はその施策を具現化するため、市、教育委員会、市民、認定ＮＰＯ法人がそれぞれの役割を果たしながら連携して実施しており、継続的に市が関与していく必要があります。
事務事業の成果	3年度	4年度	5年度	さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	A	A	A	Ａ：十分に成果を上げている。 優秀なガイドスタッフの育成が進められていることから、各学校の要望に応える鑑賞プログラムの展開が可能となっています。このような人材の更なる育成、発掘のため、認定ＮＰＯ法人の豊富な知識とノウハウを活用することが事業を実施するうえで最も効果的であると考えます。
事業費・人件費	3年度	4年度	5年度	事業費、人件費は適正か。
	A	A	A	Ａ：経費は適正な水準である。 事業費はガイドスタッフの募集、育成および発掘するための費用です。事業を安定的に実施するためには高度な専門性を持った人材が多く必要であり、継続的な研修が必須となることから、それに見合った経費になっていると考えます。人件費は関係機関との調整を行うために必要最低限の経費となっています。
受益・負担の公平性	3年度	4年度	5年度	受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	A	A	A	Ａ：受益・負担は適正である。 ガイドスタッフは、美術の知識の有無にかかわらず、誰もが応募できるものであることから、受益の偏りはなく、公平性は保たれています。
社会的配慮	3年度	4年度	5年度	市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、ＳＤＧｓの達成に向けた取り組み５点について十分に行ったか。
	A	A	A	Ａ：社会的配慮を十分に行っている。 ガイドスタッフ募集の際は、市の広報やホームページのほか、動画やSMSを通じて広く情報発信を行いました。

令和５年度　事務事業評価表

37458
一般会計

事務事業名	芸術文化ホール管理運営事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺　和由

1．位置づけ･事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている
根拠法令	名　称	文化芸術基本法
		劇場・音楽堂の活性化に関する法律
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	平成27年度		設定無し

2．事務事業の概要

対　象

やまと芸術文化ホール

目　的

やまと芸術文化ホールの円滑な管理運営を行います。

手段、手法【実施手法： 直営・委託・指定管理　】

・指定管理者による管理運営を行います。

成　果（効果･予測）

・市民が安心、安全に芸術文化ホールを利用することができます。
・文化芸術の更なる振興が図られ、心豊かで潤いのある市民生活及び活力ある地域社会の実現に寄与することができます。

課　題

芸術文化ホールの管理運営について、指定管理者と定期的に情報共有しながら、適正な管理運営を進める必要があります。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	294,246	292,181	292,168
人件費	2,606	2,629	2,629
総事業費	296,852	294,810	294,797

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	292,168
合　計	292,168

3．活動内容

活動指標1

名称	開館日数		単位	日
内容説明	芸術文化ホールの開館日数			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	359	360	359
実　績	359	360	―――

活動指標2

名称	利用者数		単位	人
内容説明	ホール、ギャラリー、マルチスペース利用者数			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	200,000	250,000	250,000
実　績	172,714	197,546	―――

活動指標3

名称			単位	
内容説明				

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標4

名称			単位	
内容説明				

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

4．今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続
	今後も、指定管理者等と管理運営に関する課題について定期的に情報共有しながら、円滑かつ適切な管理運営の実現に努めていきます。					

５．評価結果

	評価結果			
市の関与の妥当性	3年度	4年度	5年度	市が関与する必要性があるか。
	A	A	A	Ａ：市が関与する必要性が高い。 本事業は、市が設置する芸術文化ホールを円滑に管理運営するためのものであり、今後も継続的に市が関与する必要があると考えます。
事務事業の成果	3年度	4年度	5年度	さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	A	A	A	Ａ：十分に成果を上げている。 本事業では、定期的に指定管理者と協議を行い、芸術文化ホールの管理運営に関する課題や問題点について随時対応を行っています。その結果、民間事業者が持つ知識、経験を活かした管理運営が行われており、現在の手法を継続していくことで、十分な成果を得ることができると考えています。
事業費・人件費	3年度	4年度	5年度	事業費、人件費は適正か。
	A	A	A	Ａ：経費は適正な水準である。 主な事業費である施設の指定管理料は、第１期指定管理での活動を踏まえ、業務内容を精査したうえで決定しています。人件費は、指定管理者との協議などに要したものであり、円滑に管理運営するうえでの必要経費として適正な水準にあると考えます。
受益・負担の公平性	3年度	4年度	5年度	受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	A	A	A	Ａ：受益・負担は適正である。 芸術文化ホールは、全ての市民が利用できる施設として管理運営を行っており、受益の公平性は保たれています。また、条例に定める利用料金については、他の公共ホールの料金等を勘案しながら設定しており、利用者の負担は適正なものと考えます。
社会的配慮	3年度	4年度	5年度	市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、ＳＤＧｓの達成に向けた取り組み５点について十分に行ったか。
	A	A	A	Ａ：社会的配慮を十分に行っている。 ホームページや駅の案内板を活用し、積極的な情報提供を行うとともに、バリアフリーコンサートを定期的に実施するなど、誰もが気軽に文化芸術に触れられる機会を提供しています。

令和５年度　事務事業評価表

8973
一般会計

事務事業名	歴史的公文書収集整理事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている
根拠法令	名　称	公文書館法(昭和63年6月1日施行)
当該事業の法令等による義務付けの有無		有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和56年度		設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

大和市の行政機関、行政委員会などの保存年限満了公文書（歴史的公文書）

目　的

歴史的公文書を収集・保管し、市民へ情報提供可能な状態とします。

手段、手法【実施手法： 直営　】

・廃棄される公文書のなかから歴史的な価値のある記録を選別・収集し、整理・目録化を行い、保存します。
・行政刊行物を収集・保存します。
・歴史的公文書のうち必要な資料については媒体変換（複製作成）を行います。

成　果（効果･予測）

歴史的公文書が市民共有の知的資源として将来にわたり引き継がれます。あわせて、これまでの行政活動について市民へ説明する責務を果たすことができます。

課　題

歴史的公文書の効率的な整理手法を検討するとともに、これらを保管する書庫や閲覧スペースの確保について検討を継続する必要があります。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	2,819	2,768	3,350
人件費	4,930	2,253	1,502
総事業費	7,749	5,021	4,852

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	3,350
合　計	3,350

3. 活動内容

活動指標1

名称	歴史的公文書の選別実施量	単位	箱数
内容説明	選別作業の対象とした廃棄公文書の量（文書保存箱数）		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	100	100	100
実　績	68	122	―――

活動指標2

名称	マイクロフィルム化処理のコマ数	単位	コマ数
内容説明	資料をマイクロフィルム撮影したコマ数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	2,000	2,000	2,000
実　績	1,926	1,881	―――

活動指標3

名称	整理済みの資料数（累計）	単位	箱
内容説明	整理済みの資料を収納した保存箱数の累計数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	1,740	1,990	2,110
実　績	1,889	1,993	―――

活動指標4

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続
	収集した資料の整理作業を継続して進めていきます。					

令和５年度　事務事業評価表

8975
一般会計

事務事業名	大和市市史編集発刊事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている
根拠法令	名　称	
当該事業の法令等による義務付けの有無	無	

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和46年度		設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

市民

目　的

市域の歴史についての基礎的な資料・記録・資料評価に関する歴史情報を提供し、市民が地域の歴史探求を行う際の情報提供を行います。

手段、手法【実施手法： 直営　】

・専門家による市域の歴史事象に関する論文等を掲載した『大和市史研究』を隔年で発行します。
・市域の歴史資料について解説を加えた『大和市史資料叢書』を隔年で発行します。

成　果（効果・予測）

・『大和市史研究』発行により、市域の歴史テーマについての専門家の新しい知見に接することができ、知識の習得・更新ができます。
・『大和市史資料叢書』発行により、市域の良質な資料に手軽に接することができ、探求・研究に資することができます。

課　題

・在庫切れの図書については、デジタルデータによる情報提供方法について検討する必要があります。提供にあたっては著作権等の取り扱いについて検討する必要があります。
・図書に掲載した資料については、利用希望に対応できるように、資料の特性を考慮した収納・保存・活用の方法を検討する必要があります。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	5,961	1,274	1,353
人件費	10,284	9,012	7,510
総事業費	16,245	10,286	8,863

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	1,353
合　計	1,353

3. 活動内容

活動指標1

名称	『大和市史研究』発行回数			単位	回
内容説明	『大和市史研究』は隔年で発行しています。				
指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
	予　定	1	0	1	
	実　績	1	0	―――	

活動指標2

名称	『大和市史資料叢書』発行回数			単位	回
内容説明	『大和市史資料叢書』は隔年で発行しています。				
指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
	予　定	0	1	0	
	実　績	0	1	―――	

活動指標3

名称				単位	
内容説明					
指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
	予　定				
	実　績			―――	

活動指標4

名称				単位	
内容説明					
指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
	予　定				
	実　績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続
	歴史情報の提供について、若年層から高齢者までの幅広い年代の歴史探求の需要を満たせるよう、引き続き継続していきます。					

令和５年度　事務事業評価表

9602
一般会計

事務事業名	文化会館建設基金管理事務			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺　和由

1．位置づけ･事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている
根拠法令	名　称	文化芸術基本法
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和47年度		設定無し

2．事務事業の概要

対　象

大和市の文化施設

目　的

文化施設建設等の財源を確保するための基金を適正に管理します。

手段、手法【実施手法： 直営　】

・市民、ポータルサイトを通じた寄附金等を基金として積み立て、その利子及び原資を適正に管理します。

成　果（効果･予測）

・文化施設の建設等に寄与します。
・寄附していただいた市民等の篤志に応えることができます。

課　題

特にありません。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	10	0	102
人件費	745	751	751
総事業費	755	751	853

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	102
一般財源	0
合　計	102

3．活動内容

活動指標1

名称	寄附金受入れ件数	単位	件
内容説明	1年間に寄附金を受け入れた件数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	4	7	8
実　績	7	8	―――

活動指標2

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標3

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標4

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

4．今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続
	文化施設の建設、施設充実に資する改築や大規模修繕等の貴重な財源として、引き続き適正な管理を行います。					

令和５年度　事務事業評価表

9603
一般会計

事務事業名	生涯学習振興基金管理事務			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている
根拠法令	名　称	文化芸術基本法
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	平成14年度		設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

市民の文化芸術及び生涯学習の振興、普及活動

目　的

市民の文化芸術及び生涯学習の振興、普及を図るための基金を適正に管理します。

手段、手法【実施手法： 直営　】

・市民、ポータルサイトを通じた寄附金等を基金として積み立て、その利子及び原資を適正に管理します。

成　果（効果・予測）

・市民の文化芸術、生涯学習の振興、普及活動を促進することができます。
・寄附していただいた市民等の篤志に応えることができます。

課　題

特にありません。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	30	1	102
人件費	745	751	751
総事業費	775	752	853

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	102
一般財源	0
合　計	102

3. 活動内容

活動指標1

名称	寄附金受入れ件数	単位	件
内容説明	1年間に寄附金を受け入れた件数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	6	8	9
実　績	8	9	―――

活動指標2

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標3

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標4

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	**Ⅰ：現状のまま継続**

市民の文化芸術、生涯学習事業を支援するための貴重な財源として、引き続き適正な管理を行います。

令和５年度　事務事業評価表

9610
一般会計

事務事業名	文化団体支援事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺　和由

1．位置づけ･事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている
根拠法令	名　称	文化芸術基本法
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
			設定無し

2．事務事業の概要

対　象

文化芸術分野の団体

目　的

文化芸術分野の団体の活動を促進します。

手段、手法【実施手法： 直営　】

・文化芸術分野の団体に対して、運営等に関する指導や助言を行います。
・市民が主体的に実施する事業に対して、後援及び会場使用等の支援を行います。

成　果（効果･予測）

・各団体の活動の充実と活動領域の拡大を推進することができます。

課　題

文化団体が活動しやすい環境を維持するため、継続的な支援策の検討が必要です。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	0	0	0
人件費	3,724	3,755	3,755
総事業費	3,724	3,755	3,755

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	0
合　計	0

3．活動内容

活動指標1

名称	大和市伝統文化伝承事業実行委員会会議出席回数	単位	回
内容説明	大和市伝統文化伝承事業実行委員会の会議の出席回数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	5	5	5
実　績	7	7	―――

活動指標2

名称	団体等の後援名義使用申請件数	単位	件
内容説明	市の後援名義使用申請件数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	30	30	30
実　績	32	36	―――

活動指標3

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標4

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

4．今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続

文化芸術団体が、今後も活動を継続していけるよう、引き続き、適切な指導、助言を行っていきます。

令和５年度　事務事業評価表

9611
一般会計

事務事業名	生涯学習振興基金活用支援事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている
根拠法令	名　称	文化芸術基本法
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	平成15年度		設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

市内を中心に活動する市民及び団体

目　的

生涯学習の一環として行われる文化芸術活動を支援します。

手段、手法【実施手法： 直営　】

・市民及び団体から提案された事業について、選考会議で審査、選定を行い、生涯学習振興基金を活用して補助金を交付します。

成　果（効果・予測）

多くの市民の文化芸術等の関心を高めることができます。

課　題

生涯学習振興基金に依存した事業であるため、原資がなくなったときに、現在のような支援を継続していくべきか検討する必要があります。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	500	750	700
人件費	1,117	1,127	1,127
総事業費	1,617	1,877	1,827

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	700
一般財源	0
合　計	700

3. 活動内容

活動指標1

名称	補助金交付件数	単位	件
内容説明	生涯学習振興補助金の交付件数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	3	3	3
実　績	2	3	―――

活動指標2

名称	選考会議開催回数	単位	回
内容説明	生涯学習振興補助金選考会議の開催日数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	1	1	1
実　績	1	1	―――

活動指標3

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標4

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続

生涯学習の一環として行われる文化芸術活動の支援を行い、自発的かつ主体的な活動を促進するため、経済的な軽減を図っていきます。また、受益の公平性の観点から、より公平な事業を目指して事業手法の見直しを行います。

令和５年度　事務事業評価表

9612
一般会計

事務事業名	文化振興基金管理事務			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている
根拠法令	名　称	文化芸術基本法
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	平成03年度		設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

文化芸術の振興に資する事業

目　的

文化芸術の振興を図るための基金を適正に管理します。

手段、手法【実施手法： 直営　】

・市民、ポータルサイトを通じた寄附金等を基金として積み立て、その利子及び原資を適正に管理します。
・運用益を文化芸術事業の資金として役立てるために、繰り出しを行います。

成　果（効果・予測）

・文化芸術の振興のために行う事業を安定的に実施することができます。
・寄附していただいた市民等の篤志に応えることができます。

課　題

特にありません。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	10	80	101
人件費	745	751	751
総事業費	755	831	852

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	101
一般財源	0
合　計	101

3. 活動内容

活動指標1

名称	寄附金受入れ件数	単位	件
内容説明	1年間に寄附金を受け入れた件数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	18	20	21
実　績	20	21	―――

活動指標2

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標3

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標4

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続

文化芸術の振興を図る事業を安定的に実施するための貴重な財源として、引き続き適正な管理を行います。

令和５年度　事務事業評価表

9613
一般会計

事務事業名	文化財保護管理事務			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている
根拠法令	名　称	
当該事業の法令等による義務付けの有無		無

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
			設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

大和市内の文化財

目　的

文化財保護に関する事業を円滑に行います。

手段、手法【実施手法： 直営　】

・文化財保護に係る庶務事務を行います。
・県内文化財保護部局との連絡調整を行います。
・文化財調査報告書の販売を管理します。

成　果（効果・予測）

・各種文化財保護業務が円滑に行われます。
・県内文化財保護部局との連携が円滑に行われます。
・報告書の販売が適切に行われます。

課　題

特にありません。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	281	775	1,237
人件費	1,194	751	751
総事業費	1,475	1,526	1,988

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	80
一般財源	1,157
合　計	1,237

3. 活動内容

活動指標1

名称	報告書販売数		単位	冊
内容説明	年間の販売冊数			
指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
予　定	200	200	200	
実　績	135	69	―――	

活動指標2

名称			単位	
内容説明				
指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
予　定				
実　績			―――	

活動指標3

名称			単位	
内容説明				
指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
予　定				
実　績			―――	

活動指標4

名称			単位	
内容説明				
指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
予　定				
実　績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	**Ⅰ：現状のまま継続**
	文化財保護に関わる事務全体を円滑に進めるための基礎となっており、今後も継続していきます。					

令和５年度　事務事業評価表

9614
一般会計

事務事業名	文化財保護審議会等運営事務			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている
根拠法令	名　称	文化財保護法
当該事業の法令等による義務付けの有無		有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和41年度		設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

市内の文化財、指定重要文化財

目　的

市内の文化財、指定重要文化財の管理を適切に行います。

手段、手法【実施手法： 直営　】

文化財保護審議会で文化財の指定等の重要事項を審議します。文化財保護指導委員は指定文化財の巡回調査等の地域活動を行います。

成　果（効果・予測）

重要文化財に指定することで、文化財保護についての意識が高まり、市民共有の財産として歴史的・文化的環境を享受できる機会を提供できるようになります。また、定期的に巡視することにより、指定文化財の適正な維持管理のための情報を得ることができます。

課　題

地域の伝統・文化・文化財に精通した文化財保護指導委員を10地域から選任するのは難しく、今後検討が必要です。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	438	430	441
人件費	1,489	1,502	1,502
総事業費	1,927	1,932	1,943

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	441
合　計	441

3. 活動内容

活動指標1

名称	市指定重要文化財指定件数			単位	件
内容説明	所有者等の申請後、現地等での調査を経て、必要の都度指定				
指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
予　定	32	32	32		
実　績	32	32	―――		

活動指標2

名称	審議会開催数			単位	回
内容説明	指定管理運営状況の評価や指定候補文化財の調査状況の審議等				
指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
予　定	2	2	2		
実　績	2	2	―――		

活動指標3

名称	巡回調査件数			単位	件
内容説明	指定文化財に対する巡回件数				
指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
予　定	52	52	52		
実　績	52	52	―――		

活動指標4

名称				単位	
内容説明					
指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
予　定					
実　績			―――		

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続

大和市にとって重要な文化財の指定、指定文化財と文化財案内板の巡回調査は、文化財保護に必要な基礎的業務であり、今後も現状のまま進めていきます。

令和５年度　事務事業評価表

9615
一般会計

事務事業名	埋蔵文化財保護事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺　和由

1．位置づけ･事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている
根拠法令	名　称	文化財保護法
		地方教育行政の組織及び運営に関する法律
		神奈川県文化財保護条例
当該事業の法令等による義務付けの有無		有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和35年度		設定無し

2．事務事業の概要

対　象

市内の周知の埋蔵文化財包蔵地で開発行為等の事業を行う個人・事業者等

目　的

市内に存在する埋蔵文化財保護のため、開発行為等で発掘される埋蔵文化財を記録・保存します。

手段、手法【実施手法： 直営　】

・文化財保護法にもとづく埋蔵文化財関係届出書類の受理・送付を行うとともに現状調査及び事業者との協議を行います(県委譲事務)。
・遺跡地図を作製し、事業者等が閲覧できるように周知します。
・発掘調査を実施し、出土物の資料整理、報告書の刊行をします。
・石器・土器などを分類整理し閲覧・活用できるようにします。

成　果（効果･予測）

・周知の埋蔵文化財について、開発事業者や土地所有者などの協力を受け、保護措置を講ずる機会を確保することができ、県や事業者などとの調整を円滑に進めることができるようになります。
・消滅する遺跡の記録を作成し、市民が活用できる機会を確保することができます。
・また、保管遺物の管理がしやすくなり、利用者への利便を図ることができます。

課　題

埋蔵文化財包蔵地に関する問い合わせが多くあることから、効果的な情報提供について検討が必要です。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	8,581	6,357	8,856
人件費	12,993	10,514	10,514
総事業費	21,574	16,871	19,370

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	2,000
県支出金	666
市債	0
その他	0
一般財源	6,190
合　計	8,856

3．活動内容

活動指標1

名称	法第92条、第93条、第94条関係事務件数	単位	件
内容説明	民間事業者・国・地方公共団体が行う開発行為に伴う手続き		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	100	100	100
実　績	153	148	―――

活動指標2

名称	発掘調査件数	単位	件
内容説明	市直営調査の件数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	15	15	15
実　績	18	22	―――

活動指標3

名称	埋蔵文化財協議件数	単位	件
内容説明	埋蔵文化財包蔵地範囲確認、遺跡取扱い協議等の件数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	1,200	1,000	1,000
実　績	940	925	―――

活動指標4

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

4．今後の方針等

	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続

今後の方針等

市地図情報サービス等で埋蔵文化財包蔵地を周知し、埋蔵文化財の各種届出に必要な情報提供、指定文化財の情報を提供します。また、開発に関する照会・協議に対応し、発掘調査についても理解をいただきながら業務を進めていきます

令和５年度　事務事業評価表

9616
一般会計

事務事業名	民俗文化財保護事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている
根拠法令	名　称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律
当該事業の法令等による義務付けの有無		有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
			設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

民俗文化財

目　的

散逸しつつある民俗文化財を後世に伝えるために、それらを調査・整理・記録し、公開します。

手段、手法【実施手法： 直営　】

収蔵民具を調査・実測し、記録を作成し、整理終了後に文化財調査報告書を刊行し、閲覧利用できるようにします。市域の古老から聞き取り調査を行い、伝承されている民俗について調査報告書として刊行します。

成　果（効果・予測）

市域の身近な歴史を市民が理解する上で欠くことのできない、さまざまな民俗資料について、調査・収集・整理などを行うことで、新たな歴史的事実を市民に提供するとともに、市民が活用できるようになります。

課　題

民俗分野での伝承者は高齢の方々が多く、民俗芸能・行事などが絶えてしまう恐れがあり、今後も早急な調査への取り組みを行うことが必要です。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	722	778	902
人件費	1,489	1,502	1,502
総事業費	2,211	2,280	2,404

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	902
合　計	902

3. 活動内容

活動指標1

名称	民具資料収集件数	単位	件
内容説明	民具資料の寄付件数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	3	3	3
実　績	3	6	―――

活動指標2

名称	民具資料利用件数	単位	件
内容説明	展示や授業等での活用のために利用した件数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	8	8	8
実　績	7	9	―――

活動指標3

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標4

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続

収集している民具資料の記録および民俗芸能・行事等の伝承者からの聞き取り調査を実施しています。計画的に毎年少しずつ調査を行うことが大切で、集積したデータなどを記録保存し、調査成果を市民に提供していきます。

令和５年度　事務事業評価表

9617
一般会計

事務事業名	史跡・天然記念物保護事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている
根拠法令	名　称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律
当該事業の法令等による義務付けの有無		有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和38年度		設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

史跡・天然記念物

目　的

市内に生息していた動物、植物、昆虫類の実物標本の適正な保存管理を行います。また、県・市指定天然記念物の樹木を管理します。

手段、手法【実施手法： 直営　】

実物標本は、つる舞の里歴史資料館で保管しています。市指定天然記念物は損害賠償責任保険に加入し、風水害等の自然災害時に巡視を行います。県指定天然記念物については、土地所有者と賃貸借契約を締結し、日常の維持管理等の事業を市が実施します。

成　果（効果・予測）

天然記念物(樹木)の保護や動植物標本資料を保存・活用することで、市民が市内の自然環境の変遷を理解できるようになります。

課　題

・風水害等の自然災害時において、指定文化財の状況把握を含めた迅速な対応が求められます。
・天然記念物の枯死や虫食い等による落枝や倒木の兆候が見られた際には、緊急対応が求められます。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	543	2,812	1,332
人件費	1,489	1,502	1,502
総事業費	2,032	4,314	2,834

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	1,332
合　計	1,332

3. 活動内容

活動指標1

名称	天然記念物管理件数	単位	件
内容説明	ケヤキ２本、タブノキ、ハルニレ、シラカシ林		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	5	5	5
実　績	5	5	―――

活動指標2

名称	標本管理件数	単位	件
内容説明	昆虫標本、植物標本		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	2	2	2
実　績	2	2	―――

活動指標3

名称	樹木診断	単位	件
内容説明	樹木医による天然記念物（樹木）の樹木診断（年１本）		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	1	2	1
実　績	2	1	―――

活動指標4

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

4. 今後の方針等

3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続

今後の方針等

市指定天然記念物については、所有者と連絡を取り合い専門家のアドバイスを得て、良好な状態で樹木が生育できるようにしていきます。植物・昆虫標本についても適切な保存を継続します。

令和５年度　事務事業評価表

9619
一般会計

事務事業名	指定文化財保護支援事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている
根拠法令	名　称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律
当該事業の法令等による義務付けの有無		有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和38年度		設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

指定文化財所有者

目　的

市指定重要文化財の保護と保存管理体制の充実を図ります。

手段、手法【実施手法： 直営　】

管理者へ補助金を交付します。

成　果（効果・予測）

保存管理体制を充実させ、文化財を後世に残すために適正な維持管理が図られます。

課　題

指定文化財については、継続的な保護支援が必要です。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	290	290	577
人件費	745	751	751
総事業費	1,035	1,041	1,328

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	577
合　計	577

3. 活動内容

活動指標1

名称	補助金交付件数	単位	件
内容説明	市指定重要文化財の維持管理補助金交付件数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	25	25	24
実　績	23	22	―――

活動指標2

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標3

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標4

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続

引き続き指定文化財の管理に対する補助金を交付していきます。

令和５年度　事務事業評価表

9620
一般会計

事務事業名	郷土民家園管理運営事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている
根拠法令	名　称	
当該事業の法令等による義務付けの有無		無

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	平成06年度		設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

郷土民家園

目　的

市指定文化財である郷土民家園施設を適切に維持管理します。

手段、手法【実施手法： 指定管理　】

・郷土民家園管理運営事業を指定管理者に委ねて実施します。

成　果（効果・予測）

施設の適正な管理運営を行うことにより、より多くの市民が楽しく見学したり、江戸時代の建築物と昔の暮らしに接することができるようになります。

課　題

経年劣化した施設・設備について計画的な修繕が必要です。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	10,762	10,651	10,980
人件費	745	751	751
総事業費	11,507	11,402	11,731

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	10,980
合　計	10,980

3. 活動内容

活動指標1

名称	郷土民家園の来園者数	単位	人
内容説明	園内の見学者数(自動カウンター)		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	55,000	55,000	55,000
実　績	34,967	29,181	―――

活動指標2

名称	事業実施件数	単位	件
内容説明	普及啓発事業の実施件数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	30	30	30
実　績	35	32	―――

活動指標3

名称	行事参加者数	単位	人
内容説明	園内で行った事業への参加者数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	13,000	13,000	13,000
実　績	11,062	9,753	―――

活動指標4

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続

指定管理者による管理・運営を継続します。また、指定管理者との連絡調整及び市が実施する施設修繕を適切に実施します。

令和５年度　事務事業評価表

9621
一般会計

事務事業名	つる舞の里歴史資料館維持管理事務			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている
根拠法令	名　称	
当該事業の法令等による義務付けの有無		無

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	平成10年度		設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

つる舞の里歴史資料館

目　的

施設を適切に維持管理します。

手段、手法【実施手法： 直営　】

施設の日常的な維持・管理事務を行います。

成　果（効果・予測）

市民が自由に入館し、展示物を観覧できる環境を維持します。

課　題

資料保存環境を維持するため、施設・設備の計画的な修繕が必要です。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	5,556	4,844	6,322
人件費	3,994	4,096	3,755
総事業費	9,550	8,940	10,077

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	6,322
合　計	6,322

3. 活動内容

活動指標1

名称	運営管理施設数	単位	件
内容説明	維持管理施設の数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	1	1	1
実　績	1	1	―――

活動指標2

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標3

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標4

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続

施設の老朽化に伴い、修繕を始めとする必要な維持管理に努めるとともに、資料保存・資料見学・調査研究の機能を有する施設として、管理運営を進めていきます。

令和５年度　事務事業評価表

9622
一般会計

事務事業名	つる舞の里歴史資料館運営事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている
根拠法令	名　称	
当該事業の法令等による義務付けの有無		無

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	平成10年度		設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

市民

目　的

市民が気軽に郷土の身近な文化財に触れることができ、歴史的な探究心に応えられる機会を提供します。

手段、手法【実施手法： 直営　】

・市北部の歴史資料を中心に調査・収集・展示公開するとともに、多様な文化財や歴史を紹介する企画展示、コーナー展示等を実施します。

成　果（効果・予測）

入館した市民は、展示物および地域の歴史に関わる詳細な知識を習得することができます。

課　題

市民に利用してもらうために、魅力的な展示や事業を企画していく必要があります。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	2,586	2,349	3,724
人件費	5,484	5,598	4,506
総事業費	8,070	7,947	8,230

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	3,724
合　計	3,724

3. 活動内容

活動指標1

名称	利用者数	単位	人
内容説明	当年度利用者数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	5,000	5,000	5,000
実　績	3,605	3,598	―――

活動指標2

名称	特別展示(旧 企画展示)・三館合同企画展回数	単位	回
内容説明	特別展示(旧 企画展示)及び三館合同企画展		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	3	3	3
実　績	3	3	―――

活動指標3

名称	特別展示(旧 企画展示)・三館合同企画展入場者数	単位	人
内容説明	特別展示(旧 企画展示)・三館合同企画展の入場者数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	1,800	1,800	2,800
実　績	1,226	2,176	―――

活動指標4

名称	企画展示(旧 コーナー展示)回数	単位	回
内容説明	年間実施の企画展示(旧 コーナー展示)開催回数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	3	3	2
実　績	2	3	―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続

地域の歴史資料保存という役目を果たしながら、常設展を継続し、企画展や季節ごとのコーナー展示などを行い郷土愛を醸成するための場となるような事業を行っていきます。企画展の実施内容や事前の宣伝等に関して引き続き工夫します。

令和５年度　事務事業評価表

9625
一般会計

事務事業名	有形文化財保護事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている
根拠法令	名　称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律
当該事業の法令等による義務付けの有無		有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
			設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

市民

目　的

有形文化財を適切に保存します。

手段、手法【実施手法： 直営　】

・古文書、その外の歴史資料の情報を整理して、データベースを作製します。
・調査記録は順に文化財調査報告書として刊行します。

成　果（効果・予測）

資料調査によって、その価値を明らかにすることができ、活用や教育的利用がなされることとなります。

課　題

有形文化財について順次調査を行い、記録保存するとともに、将来にわたり引き継いでいく必要があります。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	353	205	205
人件費	1,489	1,502	1,502
総事業費	1,842	1,707	1,707

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	205
合　計	205

3. 活動内容

活動指標1

名称	歴史資料調査件数	単位	件
内容説明	歴史資料の調査、整理作業の件数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	2	2	2
実　績	1	1	―――

活動指標2

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標3

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標4

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続

古文書・工芸品・建造物等の有形文化財については、劣化、散逸の可能性があります。今後も継続して巡視、調査、記録しこれらの資料を市民共有の財産として将来へ継承していきます。

令和５年度　事務事業評価表

9626
一般会計

事務事業名	無形文化財保護事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている
根拠法令	名　称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律
当該事業の法令等による義務付けの有無		有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
			設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

市民

目　的

伝承者の高齢化などにより、失われつつある無形民俗文化財を調査し、映像で記録・保存し、市民が活用できるようにします。

手段、手法【実施手法： 直営　】

市内に残る無形民俗文化財を調査し、その様子をビデオ映像として収録し、映像記録として保存を図ります。また映像を作品として編集し、市民に公開できるようにします。

成　果（効果・予測）

伝承者の高齢化により消滅が危惧される無形民俗文化財が、映像記録として保存されます。また、編集作品は市民が閲覧し、後継者育成のために活用することができます。

課　題

市内の無形民俗文化財は社会生活が変化するなかで消滅しつつあります。また、伝承者は高齢であることが多く、早急に記録していく必要があります。
映像の保存について、記録媒体や方法が年々変化していくので、その方法について検討していくことが必要です。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	421	261	533
人件費	1,489	1,502	1,502
総事業費	1,910	1,763	2,035

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	533
合　計	533

3. 活動内容

活動指標1

名称	撮影・編集件数	単位	件
内容説明	映像記録を撮影または編集した件数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	1	1	1
実　績	1	1	―――

活動指標2

名称	企画・調査件数	単位	件
内容説明	映像記録制作に向けた企画・調査の実施件数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	1	1	1
実　績	1	1	―――

活動指標3

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標4

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続

社会生活の変化のなかで失われつつある無形民俗文化財を今後も映像として記録保存し、蓄積した映像記録を有効に市民に提供できるよう、映像作品を作成します。また、映像作品は無形民俗文化財の後継者などへの貸し出しや、普及啓発のために活用していただきます。

令和５年度　事務事業評価表

9627
一般会計

事務事業名	文化財保管施設維持管理事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている
根拠法令	名　称	
当該事業の法令等による義務付けの有無		無

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和56年度		設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

文化財保管施設

目　的

市が所有・管理する文化財を施設に収蔵し適切に保管します。また、資料整理の拠点として活用します。

手段、手法【実施手法： 直営　】

施設の維持管理を行います。

成　果（効果・予測）

民俗・考古・歴史等の各種資料、各種調査に伴う記録・図面類、文化財調査報告書・図録・参考図書等の収蔵資料が適切に保管されます。また、資料の見学、貸し出しなどを行うことにより郷土の文化の普及啓発に資することができます。

課　題

経年劣化した施設・設備の計画的な修繕が必要です。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	1,110	1,263	1,688
人件費	745	751	751
総事業費	1,855	2,014	2,439

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	1,688
合　計	1,688

3. 活動内容

活動指標1

名称	維持管理施設棟数	単位	件
内容説明	維持管理施設棟数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	2	2	2
実　績	2	2	―――

活動指標2

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標3

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標4

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続

適切な維持管理を行っていきます。

令和５年度　事務事業評価表

9629
一般会計

事務事業名	スポーツ・よか・みどり財団支援事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	政策調整係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている
根拠法令	名　称	
当該事業の法令等による義務付けの有無	無	

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
			設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

交付先：（公財）大和市スポーツ・よか・みどり財団

目　的

（公財）大和市スポーツ・よか・みどり財団の運営を支援します。

手段、手法【実施手法： 直営　】

（公財）大和市スポーツ・よか・みどり財団の運営費に対して、補助金を交付します。

成　果（効果・予測）

安定した財団運営が持続的に行われ、多くの市民に文化芸術等に親しむ機会を提供することができます。

課　題

公益財団法人としての役割を担うべく、事業内容等について常に精査を行っていく必要があります。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	136,984	135,263	140,729
人件費	2,234	2,253	3,004
総事業費	139,218	137,516	143,733

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	140,729
合　計	140,729

3. 活動内容

活動指標1

名称	補助金交付回数	単位	回
内容説明	一年間に補助金を交付した回数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	1	1	1
実　績	1	1	―――

活動指標2

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標3

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標4

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続

公益財団法人としての継続かつ安定的な経営基盤を確保するための事業展開や人員配置の実現について、情報共有、指導及び助言を行っていきます。

令和５年度　事務事業評価表

9980
一般会計

事務事業名	下鶴間ふるさと館維持管理運営事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている
根拠法令	名　称	
当該事業の法令等による義務付けの有無	無	

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	平成17年度		設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

市民

目　的

市民が地域史を学べたり、昔の暮らしに親しめるようにします。

手段、手法【実施手法： 直営　】

現地に復原された指定重要文化財の旧小倉家住宅母屋と土蔵を適切に管理するとともに、市民に一般公開します。

成　果（効果・予測）

市指定重要文化財の建造物として現地で保存され、市民共有の財産として未来へ伝えることができます。入館した市民は、江戸時代の商家と宿場の雰囲気を体験したり、地域に伝えられる民俗行事を知ることができ、地域史の学習をするきっかけを得ることができます。

課　題

地域に根差した、にぎわいのある資料館として存在できるよう、地域の方々にとって利用しやすい施設であることが求められています。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	4,440	5,215	5,074
人件費	4,401	4,483	4,506
総事業費	8,841	9,698	9,580

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	85
一般財源	4,989
合　計	5,074

3. 活動内容

活動指標1

名称	運営管理施設数	単位	棟
内容説明	維持管理施設の数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	3	3	3
実　績	3	3	―――

活動指標2

名称	入館者数	単位	人
内容説明	入館した人数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	5,800	5,800	5,800
実　績	4,035	4,246	―――

活動指標3

名称	企画展示・事業回数	単位	回
内容説明	企画展、三館合同企画展、企画事業の回数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	6	6	6
実　績	6	6	―――

活動指標4

名称	年中行事展示回数	単位	回
内容説明	年中行事の展示を実施した回数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	9	9	9
実　績	9	9	―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続

年中行事等の展示、各種企画展示、地域や近隣学習施設と連携した広報活動や活用など、利用機会を周知し活用の幅を広げていきます。

令和５年度　事務事業評価表

16854
一般会計

事務事業名	歴史資料提供・相談事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている
根拠法令	名　称	公文書館法(昭和63年6月1日施行)
当該事業の法令等による義務付けの有無		有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
			設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

市民、職員

目　的

地域の歴史・地誌・各種映像記録などについての照会・利用相談に対し回答します。

手段、手法【実施手法： 直営　】

収集資料や刊行物に基づき回答、又は資料を紹介し、要望に応じてコピー配布をしたり、フィルムなどの貸し出しを行います。

成　果（効果・予測）

身の回りの歴史を学びたいという市民の意欲に応え、歴史的知識を高める手助けができます。また、市民・職員は各種の歴史資料や歴史情報、行政経過を受け取ることができるようになり、企業・個人事業者は地歴・建物についての情報を得られるようになります。

課　題

歴史資料に関する問い合わせに対し、迅速に対応することが求められます。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	0	0	0
人件費	1,083	1,115	751
総事業費	1,083	1,115	751

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	0
合　計	0

3. 活動内容

活動指標1

名称	資料情報提供件数	単位	件
内容説明	資料、地図、写真などの貸出および情報提供件数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	30	30	30
実　績	40	40	―――

活動指標2

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標3

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標4

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続

収集した歴史情報を必要に応じて提供します。また、問い合わせ内容と回答の情報を集約し、今後の事業に役立てます。

令和５年度　事務事業評価表

29108
一般会計

事務事業名	文化芸術振興基本計画進行管理事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている
根拠法令	名　称	文化芸術基本法
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	平成23年度		設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

大和市文化芸術振興基本計画

目　的

文化芸術振興のための施策を効果的に推進します。

手段、手法【実施手法： 直営　】

・文化芸術振興基本計画の進行管理、改定に関する審議を行うため、文化芸術振興審議会を開催します。

成　果（効果・予測）

・市民が文化芸術に親しむとともに、文化芸術を継承、創造、発信することができる環境を整備することができます。

課　題

委員の構成については、本市の文化芸術を取り巻く環境を踏まえながら、議論の継続性とともに意見の多様性にも考慮して、検討していく必要があります。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	231	416	453
人件費	2,979	5,257	5,257
総事業費	3,210	5,673	5,710

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	453
合　計	453

3. 活動内容

活動指標1

名称	文化芸術振興審議会の開催回数	単位	回
内容説明	文化芸術振興審議会の開催回数		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	3	5	5
実　績	3	3	―――

活動指標2

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標3

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標4

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続

文化芸術振興審議会での審議等を踏まえ、今後も、施策目標の達成に向けた取り組みを着実に推進していきます。また、計画の進捗状況を把握、点検し、市民や文化芸術団体等から意見を伺いながら、計画の改定作業を進めていきます。

令和５年度　事務事業評価表

44685
一般会計

事務事業名	新しい生活様式等対応事務（文化スポーツ部）			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	政策調整係	大紺　和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている
根拠法令	名　称	
当該事業の法令等による義務付けの有無		無

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	令和02年度	令和05年度	4年

2. 事務事業の概要

対　象

文化スポーツ部の業務

目　的

新型コロナウイルス感染拡大を予防する「新しい生活様式」に対応します。

手段、手法【実施手法： 直営　】

新型コロナウイルス感染拡大を予防するため、必要な衛生用品等の購入、施設の修繕等を行います。

成　果（効果・予測）

新型コロナウイルス感染防止対策を充実させることにより、施設利用者等の感染リスクを低減します。

課　題

需要と供給の不均衡や流通機能の停滞などから必要な衛生用品を円滑に購入することが困難な状況になる可能性があります。

総事業費　（単位：千円）

	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
事業費	3,498	542	0
人件費	2,234	2,253	0
総事業費	5,732	2,795	0

6年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	0
合　計	0

3. 活動内容

活動指標1

名称	衛生用品設置や環境向上修繕施設数	単位	施設
内容説明	消毒用アルコールや検温器等の設置等。		

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定	15	15	0
実　績	15	15	―――

活動指標2

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標3

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

活動指標4

名称		単位	
内容説明			

指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
予　定			
実　績			―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅲ：廃止または終了

新型コロナウイルスの感染症法上の分類の変更を踏まえ、事業廃止となりました。